

会 議 記 録

次の審議会（協議会）を下記のとおり開催したので報告します。

審議会等名称	令和6年度第2回近江八幡市社会教育委員・公民館運営審議会委員の会議		
開催日時	令和6年11月22日（金） 13:30～15:30		
開催場所	武佐コミュニティセンター 多目的ホール		
出席者 会長◎ 副会長○	<近江八幡市社会教育委員> ◎大橋委員 ○中江委員 蒲生委員 皆黒委員 園田委員 中野委員 吉井委員 重野委員 高橋委員 <長浜市社会教育委員> 藤居委員 川瀬委員 片山委員 大谷委員 清水委員 山路委員 北辺委員 <説明者・事務局> 生涯学習課 清水次長 森野課長 田中主事		
次回開催予定日	令和7年3月		
問い合わせ先	所属名・担当者名： 近江八幡市教育委員会事務局生涯学習課 田中 電話番号：0748-36-5533 Fax番号：0748-36-5565 メールアドレス： 045000@city.omihachiman.lg.jp		
会議記録	発言記録・ 要約	要約した理由	内容が整理され、記録として残すことに適しているため

事務局	<p>1. 開会 (1) 挨拶</p> <p>2. 武佐コミュニティセンターフィールドワーク</p> <p>3. 講演 (1) 武佐コミュニティセンターの概要や取り組みについて</p> <p>4. 感想交流会</p>
事務局	<p>ありがとうございました。それでは、各班ででの意見や感想の発表を各班代表者からお願いします。</p>
委員	<p>やはり我々の年代になるとその頃のことと比べると今はもう全然違ってきていることです。その子供、それから一般の人、それから老人などみんなやっぱり違うと思います。高齢者はやっぱり次にバトンタッチするためになんか努力しなくてはいけないということで、今どちらかという和高齢者の方が多いわけですよ。80過ぎが10パーセントといわれており、その子供たちよりもずっと多いわけですよ。ということで、まずは自分たちでその初めの一步をなんか踏み出してやりましょうかという意見がでました。</p>
委員	<p>武佐コミュニティセンターの方がすごい方だなということがもうはっきりとわかりました。皆さん方の意見としては、すごいパワーとそれからネットワーク、それから課題解決力と、全ての面において、あの人がなかったら次どうするんやろという懸念があります。次に継承していくためにはどうしたらいいかということを中心に話しましたが結論は出ませんでした。</p>
委員	<p>ここのグループでは、長浜の方が3人と近江八幡の地区の方がいらっしゃいます。で、お話をさせていただきました。新しい方がどんどん入ってこられているので、なかなか、その隣の方にどんな方がいらっしゃる、あそこにはどんな方がいらっしゃるって顔がなかなか見えてこなかったりするんで、支援がちゃんと行き届いているのか、少し心配なところがあるとおっしゃっていました。また武佐コミュニティセンターの方のサポート力というか、その力に感銘を受けておられて、ご自身の地域でも、その高齢者のサポートについて色々考えておられました。長浜の方なんですけど、すごく地域資源が豊かで、その地域の資源を色々生かしながら、子どもさんたちであったり、地域の方であったり、いろんなイベントをして交流されてるってことなんですけれども、来られた方それぞれ楽しんでおられますけど、その人同士がなんか繋がりであったり共有できる仕組みがもうちょっと踏み込んで作れると、地域のそれぞれの人が繋がっていくんじゃないかな、そういう仕組み作りが必要かなとおっしゃっていて、それについては、皆さん、確かにコロナ禍も過ぎて、ちょっとこう人の繋がりが、コロナ禍でちょっと途絶えたところもあるので、どうやってまた元のように繋いでいくかで、私の地域は子供会が子供が減ってなくなったり、老人会もコロナ禍でも活動ができないからやめてしまおうかっていう地域があったりして、なかなか同じ町内に住んでも、こう行き来がしにくい、繋がりが薄くなってきたりしているんで、人と人とどうやって繋げていくかっていうのがまたコロナ禍も過ぎて、これからの1つの課題かなと思いました。</p> <p>他にいかがでしょうか。 では、ないようですので、以上で終了します。</p>
事務局	<p>4.連絡事項</p> <p>5.閉会</p>